



前橋の主要事業MAP (所属議員分布図)

前橋市議会議員の任期も残すところ半年余りとなりました。今期4年間で、前橋令明の所属議員が尽力してきた主要事業と議員の分布を地図上にまとめました。市内全域にわたって多様な事業が進められてきたことがお分かりいただけると思います。

記載以外にも、現在進行中の事業、今後スタート予定の事業もたくさんございます。我々、前橋令明は、これからも市民のため、前橋市の発展のために全力で事業に取り組んでいきます。

9 前橋総合運動公園・第二球場の整備



10 江田天川大島線の開通



11 南部拠点開発事業 (IKEA・コストコ)



皆様がお住まいの地域で、課題やお困りごとなどございましたら、お近くの前橋令明・所属議員までお知らせください。会派内で共有し、課題解決へ向けて一丸となって取り組んで参ります。



1 県立赤城公園の活性化



2 阿久沢家住宅



3 道の駅「まえばし赤城」の建設



4 群馬総社駅西口の整備



5 元総社地区の区画整理



6 馬場川の官民連携まちづくり



7 前橋駅北口の開発



8 CCRC事業 (夜間急病診療所や福祉作業所の新設)



所属議員紹介 (□会派内役職 □氏名 □居住地区 □期数 □委員会等)

全世代の生活が厳しい中、



幹事長 よこやま かつひこ 横山 勝彦

- 南橋地区
- 8期
- 建設水道常任委員会
- 議会運営委員会

幹事長の横山勝彦です。
6月議会で議論された案件のうち、2件について報告いたします。
①小川市長の公約である「市長の多選自粛条例」です。議案として提案されましたが、採択結果は反対多数で否決されました。反対討論は代表して、前橋令明が行いました。(反対29、賛成4、棄権4)
私たちの考え方として、この提出案件は「そもそも議会上に上程され、採択されるべきものなのか」との疑念からはじまり、質疑を重ねた結果、市長のパフォーマンスに感われない結論となりました。
②「中学校の給食費無償化」についてです。今回提出された予算は、修正案を出せないような仕組みでした。前橋令明は、決して給食費無償化に反対するものではありません。しかしながら、「中学校から進める」という安易なものではなく、『小中学校の公正化を図るべきである』と主張しました。
議会最終日に附帯決議を提案し、質疑・討論を行い、議会採択となりました。賛成多数に繋がられました。前橋市議会15年振りの審議でした。(賛成28、反対8/共産党・フォーラム前橋)



副幹事長(総務) はやし こういち 林 幸一

- 城南小・一中地区
- 2期
- 総務常任委員会
- 議会運営委員会 (委員長)

市長が2月に交代したため、例年3月開催に開催される第1回定例会が5月に開催されました。令和6年度前橋市一般会計予算を中心に審議され、予算案は可決されたものの、附帯決議が採択されました。20日に行った総括質問の内容は次のとおりです。(持ち時間32分間)

- 前橋市子ども計画について
 - ①目的と経緯 ②今後の取組
 - ③前橋市子ども基本条例との関係 ④少子化対策
- 小中学校の校舎長寿命化工事について
 - ①現状 ②発注方法 ③今後
- 前橋ブックフェスの開催について
 - ①前回開催の効果 ②今後の取組
- 観光都市前橋について
 - ①臨江閣(右図の写真) ②酒井氏歴代墓地
- 犬猫の適正飼養について
 - ①現状 ②県動物愛護管理条例 ③本市の条例改正
- 地域の諸課題について
 - ①江田天川大島線 ②旧第五保育所改修



臨江閣 観光の拠点へ



副幹事長(政策審議) つつみ はじめ 堤 波志芽

- 桃井・中央地区
- 2期
- 市民経済常任委員会(委員長)
- 議会運営委員会
- ICT利便性向上特別委員会

つつみはじめです。令和6年度になり、会派では副幹事長、議会では市民経済常任委員会の委員長となりました。任期も残すところ一年となりましたが、一日一日を大切に、一つ一つ取り組んでいきます。
【子育て・先進教育】
・公園の遊具や施設の充実と管理の負担軽減
・不妊治療、産後ケア、家庭児童相談の拡充 少人数学級の可能性
【交通安全・災害対策】
・防犯カメラ・防犯灯の設置拡充
・カーブミラーや道路区画線等の交通安全対策
・災害時の避難所の整備
【まちづくり・空き家対策】
・中心市街地再開発事業 空き家対策の強化
・前橋駅北口、本町五差路、中央前橋駅の周辺整備
【その他】
・企業支援(事業所税の減免、補助金の拡充)
・スポーツ振興、文化活動・歴史文化財の保全と観光振興
・動物の殺処分ゼロ
(詳しくはホームページをご覧ください。)



会員 あべ ただゆき 阿部 忠幸

- 大胡地区
- 6期
- 市民経済常任委員会
- 都市計画審議会委員(会長職務代理者)

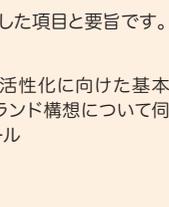
【令和6年第1回定例会】
代表質問15項目の抜粋
質問/農業施策を行う上で重要なパートナーであるJA 前橋市への支援と関係についてどのように考えているのか伺う。又、JA前橋市とトップセールスによる販路拡大を進めるべきと考えるが伺う。
答弁/一市一農協の体制であり、互いに協力し緊密な連携と調和を図っていく。又、JA前橋市とトップセールスを実施したい。
質問/「建設業の2024問題」をどのように捉えているか。又、建設事業者の中長期的な育成・確保が必要だが、建設業界を取り巻く課題を解決するために、入札制度の変更が必要であるが伺う。
答弁/適正な工期を確保し、適正な予定価格を算出し、施工時期の平準化を図っていくことが重要である。又、建設業の方の協力が不可欠であり意見を聞きながら、入札制度や事業のあり方等も研究していく。
質問/今後5年間で教育費に係る大型事業経費はどの程度か。
答弁/共同調理場の更新、校舎老朽化対策、タブレット更新等で、270億円以上必要。



会員 すずき としじ 鈴木 俊司

- 富士見地区
- 4期
- 総務常任委員会
- ICT利便性向上特別委員会(委員長)
- 監査委員

R6年5月17日の第1回本議会にて、総括質問をした項目と要旨です。
1. 県立赤城公園の整備について
①令和4年に策定された『県立赤城公園の活性化に向けた基本構想』の中に記載されている赤城ウェルグランド構想について伺う。 ②今年度の事業 ③今後のスケジュール ④カヌー、カヤック指定業者の契約
2. 新最終処分場について
①最終処分場建設と地域振興事業について伺う。 ②建設事業の予定 ③広域連携
3. 市長の市政運営について
①副市長人事について、子育て支援を最重要課題に掲げ、実現のために副市長の派遣を子ども家庭庁に要請すると言っておられたが、現在どのようになっているのか伺います。 ②タウンミーティング
4. 農業振興について
①高齢化や離農により農業者の人口が減少しており、担い手確保、育成のための支援について伺う。 ②農家支援事業
5. 有機農業について
①有機農業を推進していく基本的な姿勢、考え方について伺う。 ②今後の取組



会員 あらい みか 新井 美加

- 元総社地区
- 3期
- 副議長
- 市民経済常任委員会

市民経済常任委員会では、まつり等補助事業について、市街地再開発とイベント実施の相乗効果について質疑いたしました。
【市街地再開発について】
広瀬川河畔緑地や馬場川通りなど、再開発によってまちなかが大きく変わってきました。直近のイベントである七夕まつりは、再開発が進んでいるエリアを中心に開催エリアを拡大することで、補助金額も増加しています。相乗効果も期待できます。
【イベント実施の相乗効果について】
再開発により、七夕まつりに新たな魅力が加わるとともに、まつりを訪れた人が散策を楽しむなど回遊性が向上し、にぎわい創出の相乗効果が発揮されることを願いますが、七夕飾り参加店舗の高齢化が進み、作品づくりにも皆苦勞されています。今後の改善策を考えていく必要があると思います。



会員 すが ひろし 須賀 博史

- 三中地区
- 3期
- 教育福祉常任委員会
- 都市計画審議会委員

第1回定例会の質問事項(委員会)です。今回は新しい市長任期の関係で令和6年度の予算審査の議会が5月開催となりました。今年度の予算を決める大事な審査で下記の事項を質問いたしました。
1 学校給食実施事業(中学校給食費無償化)について
2 子ども政策推進事業について
3 戦没者追悼式実施事業について
4 高齢者電話訪問事業について
5 老人福祉センターバス運行事業について
6 地域介護予防活動支援事業について
7 がん検診事業について
8 動物愛護・管理推進事業について
9 体力向上推進事業について
「2 子ども政策推進事業」については、子ども条例・計画制定に向けての新規事業なので、前橋市独自の内容として、児童虐待や不登校、ヤングケアラーなど、子どもを取り巻く状況は極めて憂慮すべき状態であることから、その内容が盛り込まれるよう条例制定に向けた質疑を行いました。



会員 おぶち かずあき 小淵 一明

- 桂萱地区
- 2期
- 教育福祉常任委員会(委員長)

今年度から教育福祉常任委員会の委員長を務めさせていただいております。全国的に少子高齢化は課題であり、少しでも克服するために活動していきたいと思っております。日本の食料自給率は38%と少ない割に、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品が多くあります。こういった食品を何とか再利用するためSDGsの方針に基づいて取り組んでいきたいと思っております。
地域の安全のために取り組んできた群大附中通り線の拡幅工事も、いよいよ完成に近づいてきました。幸塚町十字路も整備が終わり、スムーズに通行できるようになりました。残すは、南側の大正橋へとつなぐ道路の拡幅です。歩行者や自転車が安全安心して通行できるように1日も早い工事完了を目指します。



前橋令明が皆様の生活を守ります！



会 員
こ い わ い りょう た
小岩井 僚太

- 南橋地区
- 2期
- 建設水道常任委員会 (委員長)
- ICT利便性向上特別委員会

【令和6年 第1回定例会 総括質問】

1. 公共交通について
 - (1) マイタク制度充実
 - (2) ダイナミックプライシング
 - (3) 共創モデル実証プロジェクト
2. 環境行政について
 - (1) GX (2) ペロブスカイト太陽電池
3. 教育行政について
 - (1) SNS活用 (2) 不登校支援
 - (3) 市立前橋高校女子硬式野球 (4) 部活動の地域移行
4. 産業政策について
 - (1) 駒寄スマートインターチェンジ産業団地
5. 災害対策について
 - (1) ハザードマップ



できる事、やるべき事を確実に。を念頭に置き、引き続き活動していく所存でございます。

気候変動、少子高齢化等我が国は様々な課題を抱えております。だからこそ、今までのステレオタイプを見直し、不易流行。激動の世界で変えるべき事は、迅速に変える。変わらない価値のあるものは、守っていく。その先に、市民の暮らしや豊かさが見えてくる。頑張ります。



会 員
いち むら ただ みつ
市村 均光

- 城南地区
- 1期
- 総務常任委員会 (副委員長)

市村ただみつです。

前橋市の子どもたちが健やかに育つ環境づくりのため、果たしたかったことの1つである、フリースクール等を利用する不登校児童への支援が十分に事業化することができました。

全国でも希少、群馬県内市町村でも初めての政策です。この施策は本市が地域全体で不登校支援に取り組むメッセージとなるはず

です。議会では不登校支援について、常に取り上げさせていただき、当事者の声だけでなく、学校現場の声も届けさせていただきました。

また議会外でもフリースクール運営者や不登校児童を抱える保護者とともに要望書の提出、教育委員会へは先進的な取り組みを実施している自治体を紹介し、本市の不登校支援施策を応援してまいりました。

まだまだ若輩者ですが、これからも前橋市で暮らすすべての方のために働いてまいります。



会 員
さ どう しょう へい
佐藤 祥平

- 上川淵・五中地区
- 1期
- 教育福祉常任委員会 (副委員長)

佐藤しょうへいです。市議会議員として4年の任期も残り約1年となりました。今年度は教育福祉常任委員会副委員長としても務めさせていただきます。これからも年齢や性別、出身、国籍、障害の有無に関わらず誰もが自分らしく生きる社会を目指し、自治会や各種団体、市民の皆さまからの声を市政に届けていきます。

令和6年5月第1回定例会で下記の質問・要望をしました。

- 国際交流事業について
国際交流事業、台南フェア
- 教育支援について
国際理解推進事業、外国人児童生徒
- こども誰でも通園制度について
利用方向、利便性
- 災害対策について
前橋南部地区の災害対策の現状、民間連携
- 市営住宅管理運営事業について
広瀬団地のPFIによる建替え、余剰地活用
- 地域の諸課題について
保育所の統合、上川淵公民館



前橋市議会 前橋令明(所属議員11名)

〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1

TEL: 027-898-6976(会派直通)

FAX: 027-212-7220

* 会派ホームページを開設しております。
以下のURLまたはQRコードより
アクセス可能です。

<https://m-reimei.com/>

(過去に発行した会報紙についても、
会派ホームページより閲覧可能です。)



「多選自粛条例案(*)」は否決へ

*多選自粛条例案とは・・・

現職の市長だけでなく、後任の市長も含めて連続在任期間を3期までに限定する条例案

市長の『多選自粛条例案(*)』が第1回定例会において反対多数で「否決」されました。前橋令明も以下(①～④)の理由から、反対の意思を示しました。

本県には3期を超える首長も多くいらっしゃいます。多選というだけで否定的な政治スタンスは、近隣自治体やその首長との関係性にプラスに働かないと考えます。前橋市政を支える最大会派として、今後もフラットな視点をもって小川市政を支えて参ります。



- 理由1** 民主主義において候補者の良し悪しを判断するのは有権者であり、その選択肢を奪うべきではない。
- 理由2** 首長の選出に制約を加えることが、日本国憲法上の基本的人権の保障や職業選択の自由を奪いかねない。(多選に関する条例の多くが、これを理由に廃止されている)
- 理由3** 3期を多選としている根拠が示されていない。
- 理由4** 条例として未来永劫制定されることは、市民の理解が得られない。

『ガスパーク』が開業！

サッカーJ2のガスパ群馬を運営するガスパ群馬の専用練習場『ガスパーク』が5月22日に開業しました。(前橋市富田町)

ガスパークは株式会社カインズが企業版ふるさと納税の仕組みを活用して整備し、前橋市に寄付した練習場です。5万㎡超の敷地には、サッカーコート3面(天然芝2面、人工芝1面)、フットサルコート3面を備えており、商業棟内ではグッズショップやレストラン、カフェも運営されています。一般客も利用可能で、練習風景を見ながら食事や買い物を楽しむことができます。地域の交流拠点としての活用が期待されます。



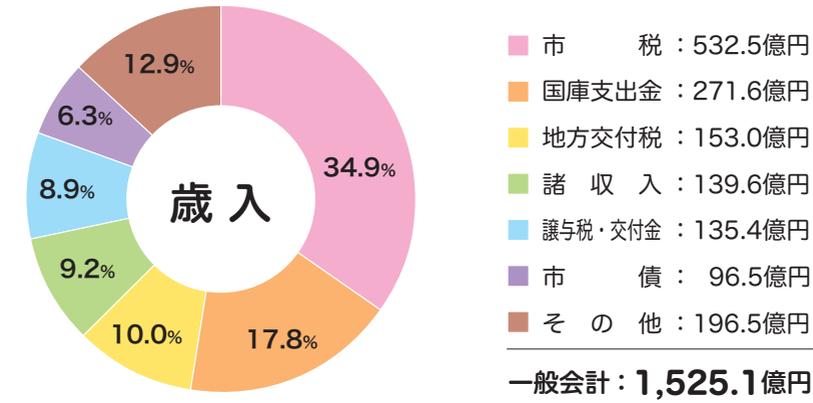
スポーツ振興の拠点としてオープン



解放的なテラス席で食事を楽しむことも可能

令和6年度 一般会計予算

総額 1,525.1 億円(前年度比3.9%増)で、過去3番目の予算規模。新規事業に期待しつつも、今後の財政運営に不安を感じる部分も。



市税収入の内訳

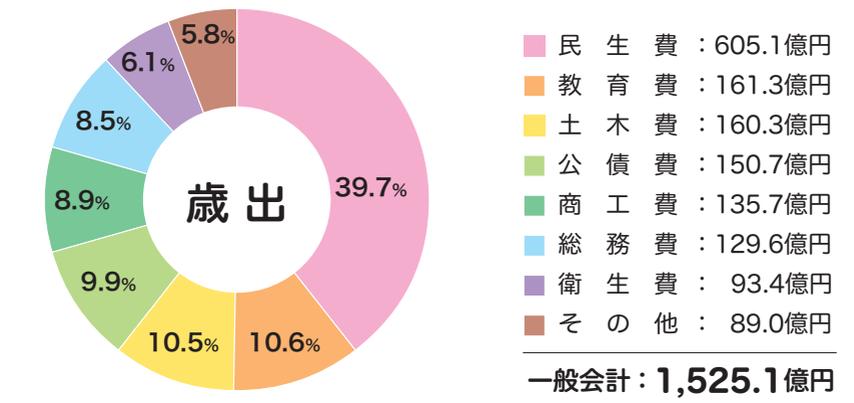
個人市民税：定額減税に伴う減収を見込み、対前年度、約10.4億円の減額
 法人市民税：景気回復の傾向はあるものの、原材料やエネルギー価格の高騰により、前年度と同程度の見込み。
 固定資産税：設備投資が低調なことから、対前年度0.6%減

歳入見込額の考え方

市税全体では対前年度マイナス2%の11.1億円の減を見込んでおります。未だ厳しい社会情勢の中で、安定的な歳入の確保策が必要であるため、収収確保に向けた新たな各種施策の展開を強くお願いしました。

基金(*)の取り崩し *財源不足が生じたときのために貯めている貯金。

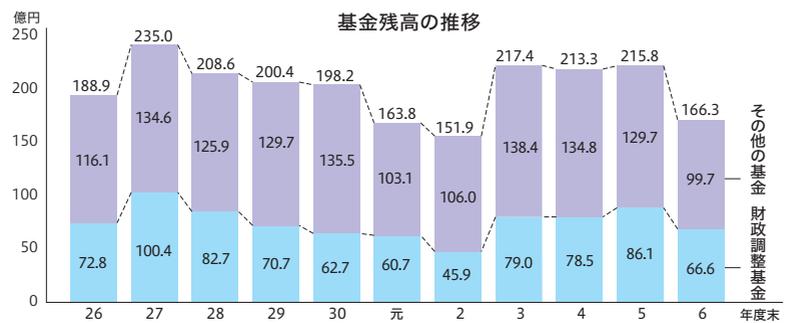
財政調整基金については、今回19.5億円もの取り崩しがあり、残高は約66.6億円を見込んでおります。災害時の緊急支出などを想定すると、決して楽観視できない状況です。基金頼みの予算編成では、前橋の財政は立ち行かなくなるため、プライマリーバランスを意識した予算編成を提案してまいります。



歳出の特徴

今回の予算編成は子育てと教育分野に重点が置かれ、市長の想いが反映されている内容でした。しかし、この予算規模で今後も健全な財政運営を行っていくのか不安も残ります。物価高の影響は行政も同様であり、資材や人件費も高騰しています。この先も市有施設の改修や大型事業を進めていく中で、義務的経費も増え続けていくでしょう。

PDCAサイクルによる進行管理の徹底と事業の総点検を行って、市民と議会が納得できる予算編成に取り組むとともに、財政健全化に十分留意した予算の有効活用をお願いしました。



第七次総合計画で定める『6つのまちづくりの柱』

1 教育・人づくり

- 公園の維持管理を推進(大胡グリーンフラワー牧場、前橋総合運動公園等)
- 外国人転入増に伴う指導体制の充実、特別支援教育の推進
- GIGAスクール構想の推進と計画的な財源確保

2 結婚・出産・子育て

- こどもフードパントリー事業の継続やこどもの生活学習支援の開始
- 一時預かり施設の開設や医療的ケア児への保育支援等による子育て環境の整備
- 一ヶ月児健康審査や産後ケア事業の拡充

3 健康・福祉分野

- 民生委員児童委員の連絡協議会への支援
- 子供向け手話講習会の実施や障害福祉インクルージョン推進事業の開始
- 寝たきり高齢者への出張理髪サービスの拡充、認知症伴走型支援による高齢者への支援
- 各種検診や予防接種事業による市民の健康増進

4 産業振興分野

- 農業従事者の高齢化、後継者不足への対応策
- 農業資材や飼料価格の高騰への継続的な支援
- 企業誘致等促進事業及び新たな産業団地の確保
- 人材不足の解消へ取り組み
- 森林整備への取り組み
- 経済の活性化策を推進

5 シティプロモーション

- 社会課題解決に向けた取り組み(SDGs、民間連携、めぶくコミュニティの機能強化等)
- 地域活性化を推進(歴史文化イベントの開催や4大祭りの実施)
- 観光客を呼び込む事業の推進(赤城公園施設整備促進、道の駅まえばし赤城の管理運営)
- 歴史まちづくりの推進(旧町名表示板面の制作の実施)
- 空き家対策(住宅支援事業への補助拡充を推進)

6 都市基盤

- 職員の生産性向上(DX推進、クラウド接続系ネットワーク機能強化)
- GX戦略事業(検討組織の立ち上げ、本市での事業構築の可能性を調査)
- 公共交通の利用拡大を促す事業(路線バスの割引事業、マイタク拡充、マースやシェアサイクルコグへの推進)
- 通学路や道路の安全を守る(防犯灯設置の拡充、通学路安全対策、ゾーンプラス推進等)
- 環境施策(資源ごみ分別アプリの拡充、粗大ゴミ予約システムの導入)
- ごみ減量化の推進と、最終処分場となる小坂子町や地域住民との連携を要望
- 都市計画運営事業(長年の懸案であった本町二丁目五差路周辺のウォークアブル推進、自動運転走行空間実証実験支援)

給食費の無償化が、他の事業を圧迫してはならない

今回の予算では、「給食費の無償化」の段階的実現のために、4億円超の予算が計上されました。(市内20の市立中学校で始めるための必要経費)今後は、毎年この財源を確保する必要があり、対象を小学校まで拡大するとなれば、さらに莫大な予算が必要です。

一方で、老朽化によって一刻も早い改修が求められる市有施設も数多く存在します。給食費の無償化を実現する反面、他の住民サービスが低下しては何の意味もありません。新規事業によって既存事業へ悪影響が出ないよう、監視していくのも我々の役目だと自覚しております。



老朽化が目立つ東部調理場。しかしながら、今年度の予算に本施設の改修費は計上されていない。

給食費無償化への附帯決議を提出

今後、段階的に小学校給食費の負担軽減を進めていくにしても、経常的に多額の税金が必要となります。事業の総点検を実施して歳入歳出を整理し、市民理解が得られる最良の時期や、段階的な政策が何かをしっかりと協議をした上で慎重に進めていく必要があります。

このような考えのもと、前橋令明として給食費の無償化を推進する上で、以下のような附帯決議を提出いたしました。

【附帯決議内容】

中学校給食費完全無償化の実施のみならず、今後段階的に小学校給食費の負担軽減を行うに当たっては、関係する部署や機関、議会と十分な議論の上、進めること。